

## 二条裸麦「キラリモチ」の茎立期・出穂期予測法

農業総合センター農業研究所

### 【研究の概要】

麦類の栽培においては、追肥や病害虫防除等の栽培管理を適期に進めるために、生育ステージを予測することが重要です。そこで、平成 29 年に認定品種に採用された精麦用二条裸麦「キラリモチ」の茎立期と出穂期の予測技術を開発するため、麦の生育と気温との関係を解析しました。本成果により、機能性と精麦品質が優れ、実需者ニーズの高い「キラリモチ」の高品質安定生産が可能となります。



炊飯した「キラリモチ」

### 【研究内容】

#### ①主稈長の測定による茎立期予測法

播種日から主稈長の調査前日までの日平均気温の和（0℃以上）と主稈長（1.0mm 以上）の関係を解析しました。

#### ②主稈幼穂長の測定による出穂期予測法

主稈幼穂長の調査翌日から出穂期までの日平均気温の和（0℃以上）と主稈幼穂長の関係を解析しました。



主稈長と主稈幼穂長の測定

### 【研究成果】

#### ①主稈長の測定による茎立期予測法

#### ②主稈幼穂長の測定による出穂期予測法

茎立期、出穂期ともに高い精度で予測できる予測式を作成しました。主稈長や幼穂長を測定し、農業研究所ホームページ※に公開されている Excel ファイルに入力することで、予測を行います。

出穂期予測ファイルの画面と予測の手順

※ 農業研究所ホームページアドレス：<http://www.pref.ibaraki.jp/nourinsuisan/noken/right.html>

### 【将来の展望】

「キラリモチ」は栽培面積 300ha への普及拡大を目標としており、本成果は、生産現場において高品質安定生産に向けた指導場面での活用が期待されます。